

## 会 議 概 要

[ 会 議 名 ] 第 1 回 府中市官製談合再発防止対策検討委員会

[ 日 時 ] 令和 2 年 6 月 2 5 日 ( 木 ) 午後 3 時 0 0 分 ~ 午後 3 時 4 0 分

[ 場 所 ] 府中市役所 庁議室

[ 出 席 者 ] < 委 員 長 > 副市長

< 副委員長 > 副市長、教育長

< 委 員 > 政策総務部長、行政管理部長  
都市整備部長、教育部長

< 事 務 局 > 政策総務部職員課

( 職員課長、職員課長補佐、人事係長、人事係主任 )

行政管理部契約課

( 契約課長、工事契約係長 )

[ 議 題 ]

- (1) 委員会設置の趣旨について
- (2) 今後の取組について
- (3) その他

## 議 事 要 旨

### 議題1 委員会設置の趣旨について

(事務局) (委員会設置の趣旨、今後の進行イメージ、事件概要、所掌事務について説明)

(委員) 委員会の設置趣旨が所掌事務にどのようにつながるのか確認しておきたい。

(事務局) 委員会の設置趣旨は再発防止にあるため、まずは事件に係る行政課題の抽出を行い、再発を防止するための市の取組方針の決定までを本委員会です掌する。当該取組方針に基づき、具体的な対策は各部署で取り組んでいくことを想定している。

### 議題2 今後の取組について

(事務局) (事務局案として、作業部会を設置し、本事件に係る行政課題の抽出を進めていくことについて説明)

(委員) 全体のスケジュールについてどのように考えているか。

(事務局) 現状は起訴内容などの情報収集を行っている。事務処理上の課題など現状で検討を進められる項目と、事件の全容が明らかになってから検討すべき項目とを切り分けて検討していく必要があるのではないかと考えている。まずは、できる部分から検討を進めながら、年度内を目途に取組成果の報告まで実施していきたい。

(委員) 事件に係る行政課題を作業部会で抽出することについては、今回の事件は部長職によるものであり、課長級の作業部会で行うことは困難ではないか。

(委員) 公判が進み、明らかになってくる部分を確認しながら検討する必要があるが、もう少し対象を拡大して検討してよいのではないか。個別事件の課題ではなく、一般的に捉えて検討する必要があると思うので、課長級による作業部会でもよいのではないか。

年度内というスケジュールは、長すぎるイメージがあるが、事態が明らかになったところで進めていけるものもある。

(委員) 作業部会への依頼の仕方次第で、検討期間が変わってくると思う。課題によって、うまく切り分けながら検討するとよいと思う。

(委員) スピード感をもって市民にしっかりと情報を伝えることは大事である。今回の事件を真摯に受けとめるとともに、行政と議会の関係を見直す機会と捉えて、サービス規程なども含め、取り組む必要があると思う。

(委員長) 作業部会を設置して進めていくことには異議はないか。

(全員異議なし)

(委員長) 異議がないため、作業部会で検討を進めることとする。

### 議題3 その他

(事務局) (本委員会の開催状況については、ホームページ等を通じて公表していきたいと考えている。)

以上